

リオ五輪 銀 御前崎市出身 飯塚選手 袋井市の中学校を訪問

01月21日 18時57分



リオデジャネイロオリンピックで銀メダルを獲得した、御前崎市出身の飯塚翔太選手が袋井市の中学校を訪問し、生徒と練習を一緒に行いました。

袋井市の袋井南中学校を訪問したのは、2016年のリオデジャネイロオリンピックの陸上男子40

0メートルリレーで銀メダルを獲得するなど、4大会連続でオリンピックに出場している飯塚翔太選手です。

飯塚選手はまず、体育館で講演を行い、全校生徒約480人の前で、夢や目標を持つことの大切さについて語りました。

つづいて校庭に移動し、早く走るために太ももを上げる練習を行ったほか、普段行っているウォーミングアップなどを生徒たちとともに体を動かしながら教えていました。

このほか、代表の生徒たち9人との100メートル走も行われ、飯塚選手が圧倒的なスピードで駆け抜けると生徒たちは興奮した様子でした。

飯塚選手と競争した中学3年生の陸上部の生徒は「飯塚選手は歩幅の長さが自分の倍ほどあって、オリンピック選手は全然違うなと思いました。20メートルぐらい引き離されました」と話していました。

飯塚選手は「子どもたちとふれあうことで元気をもらいました。この元気をモチベーションにすることで、ことしの世界選手権や3年後のロサンゼルスオリンピックに出場してまたみんなに還元できたら」と笑顔で話していました。